



25th Anniversary Season

# Youth Grand Prix 2024 Japan Semi-Finals



October 15-22, 2023

Archaic Hall

## YGP 2024 日本予選参加者の皆様へ

この度は、ユース・グランプリ 2024 日本予選にご参加いただき、誠にありがとうございます。

YAGP が日本予選を開催するようになって、昨年で 20 周年を迎えました。再びこの美しい国を訪れ、日本のダンサーにかつてないダンス教育とプロフェッショナル・ダンサーになる機会を提供するという使命が続けられることに興奮しています。

1999 年にアメリカ・ニューヨークで YAGP が初めてその門戸を開いてから、今シーズンで 25 周年を迎えます。

YAGP は、2002 年当時の日本において、若いダンサーのためにスカラシップを提供する初めての欧米のバレエコンクールでした。そして、今も変わらず、日本のダンサーと海外のダンス界との最大の懸け橋となっております。世界各国のダンス・スクールやカンパニーにとって最上の才能の源泉として、YAGP は、奨学金を得て世界有数のダンス・スクールで学び、プロフェッショナル・ダンサーとして世界中のダンス・カンパニーで踊る機会を、数多くの日本のダンサーに提供してまいりました。

YAGP の成功は、日本のダンサーの皆さんが、いかにダンス芸術に情熱を傾け、鍛錬し、芸術性高く献身を続けてきたかの証です。YAGP ファミリーの一員である参加者、その先生方、ご両親、参加スタジオの皆さんに感謝したいと思います。皆様のご参加とダンスへの献身があったからこそ、YAGP は世界最大のバレエコンクールに、そして世界有数のダンス教育プログラムに成長することができました。心より御礼申し上げます。

また、株式会社シルビア様には、長きにわたり YAGP をご支援いただき、各部門の上位入賞者に賞金をご提供いただきました。この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。

こうして今年も再び関西で開催できることを大変嬉しく思います。YAGP 25 周年シーズンに開催される YGP2024 日本予選において、才能ある日本の参加者の皆さんが多くのことを学ばれ、アーティストとしての成長と発展の重要なステップとなることを願っています。

最後になりましたが、このコンクール開催にあたって、色々のご尽力くださった指導者の先生方、参加者の皆さん、またそのご家族の皆様、ほか関係者各位に厚く御礼申し上げます。

YAGP 芸術監督／共同創設者  
ラリッサ&ゲナディ・サヴェリエフ



ユース・アメリカ・グランプリ (アメリカ) 芸術監督／共同創設者  
**ラリッサ・サヴェリエフ Larissa Saveliev**

モスクワのポリショイ・バレエ・アカデミーで学ぶ。ポリショイ・バレエ団のメンバーとして、ロシア国内はもとより、ヨーロッパ、ブラジル、エジプト、日本等の海外公演にて高い評価を得る。数々のクラシック作品やユーリ・グリゴロピッチ、ジョージ・バランシン、アントニー・チャーダー、アニュ・ドゥ・ミルなどによる作品で主要な役を踊る。1995 年にアメリカに移ってからは、ロサンゼルス・クラシカル・バレエ、ニュージャージー・バレエ、タルサ・バレエなどで活躍した。1999 年にはプリンセス・グレース・アワードのために振付をする。また、2003 年キーロフバレエ団アメリカツアーの際には、子供達の作品でキャストイング・ディレクターをつとめた。アメリカ国内のバレエ教育に多大な貢献をし、様々な学校で首席教師を務め、クラシックバレエ作品の演出も手がける。

ユース・アメリカ・グランプリ (アメリカ) 芸術監督／共同創設者  
**ゲナディ・サヴェリエフ Gennadi Saveliev**

スクール・オブ・アメリカン・バレエ、ポリショイ・バレエ・アカデミーで学び、ピョートル・ベストフ、スタンリー・ウィリアムズに師事する。ポリショイ・バレエ団で踊ったのち、1996 年、NY 国際バレエコンクールで銀メダルを受賞、アメリカン・バレエ・シアターに入団する。16 年間に渡る在籍期間中には、バレエ団とともに、またゲスト・アーティストとして北南米、ヨーロッパ、ロシア、日本で踊った。また、“アンヘル・コレラ & フレンズ”、“アレクサンドラ・フェリ & フレンズ”、“イーサン・スティフェル & スターズ”のメンバーとしてもツアーを回った。ユーリ・グリゴロヴィッチ、ラー・ルボヴィッチ、ケヴィン・マッケンジー、ペン・ステイブソン、ジョン・ノイマイヤー、トワイラ・サーブなど様々な振付家の作品にも出演する。また、ニナ・アナニアシヴィリ、ディアナ・ヴィシニョワ、ジュリーケント、アレクサンドラ・フェリ、スーザン・ジャフィー、パロマ・ヘレーラなどのパートナーを務め、白鳥の湖、くるみ割り人形、ジゼル、眠れる森の美女、ライモンダ、コッペリア、レ・シルフィード、海賊、ドン・キホーテなど、数々の作品で主役を踊った。現在、ABT スタジオ・カンパニーで教え、またゲスト・マスター・ティーチャーとしてもアメリカのみならず世界中で活躍している。

## 【審査員】

俳優、歌手、ダンサー、振付家、映画撮影監督、プロデューサー

### ジュゼッペ・バウジリオ Giuseppe Bausilio



スイス生まれ。舞台、映画、テレビなど様々な分野で活躍し、数多くの賞を受賞している。ブロードウェイでは『リトルダンサー』でのピリー役、『ニュージーズ』でのレース役及びデービー役（アンダースタディ）、『アラジン』、『キャッツ』、『ハロー・ドーリー！』、『ハミルトン』ではサミュエル・シーベリー及びチャールズ・リー役を演ずる。映画及びテレビでは、『The Next Step』（Disney/Hulu）でのAlfie役、『Ode to Passion』（アマゾンプライム）でのマイケル・フィオレリ役を演じ、またミノス・パパス監督の『Tango on the Balcony』、ニール・アルデン・オブレブ監督の『デッドマン・ダウン。』、Horizonte 配信のライブドキュメンタリー番組に出演している。さらに、国際ダンスコンクールの審査員、様々なセレモニーの司会者、また YAGP のゲストティーチャーも務める。

ドレスデン・パルッカ・ダンス大学（ドイツ）学長

チューリッヒ・ダンス・アカデミー（スイス）暫定マネージメント・チームメンバー

### ジェイソン・ビーチャー Jason Beechey



カナダ・ナショナル・バレエ・スクール、ワガノワ・バレエ・アカデミー（サントペテルブルク）、スクール・オブ・アメリカン・バレエ（NY）で学ぶ。ロンドン・シティ・バレエでソリストとして踊った後、ベルギーのシャルルロワ/ダンスにて15年間活躍した。それと並行して、ワロニア・ブリュッセル財団振付センターの教育監督を務め、自身のスタジオ「ザ・ロフト」を設立、経営する。また、フレデリック・フラマン、ウィリアム・フォーサイス、ウエイン・マクレガー、アンジュラン・プレジヨカージュらの芸術監督の元、D.A.N.C.E.プログラムのクリエイター/コーディネーターを務める。2009年ローザンヌ国際コンクールの芸術委員会のメンバーに加わり、芸術アドバイザーとしての役割を担っている。また、例年、ユース・アメリカ・グランプリの審査員を務めている。2006年より、ドレスデン・パルッカ・ダンス大学の学長を務める。

カンヌ・ムージャン・ロゼラ・ハイタワー国立高等ダンス・センター（フランス）芸術監督

### パオラ・カンタルポ Paola Cantalupo



© I.Bianco

イタリア出身。ミラノ・スカラ座で学ぶ。ローザンヌ国際バレエコンクールでは金賞を、ジャクソン国際コンクールでは銅賞を受賞し、モーリス・ベジャール 20 世紀バレエ団、ジョン・ノイマイヤーのハンブルク・バレエに入団する。1年間ニューヨークでチケッティ、リモン・メソッドを学んだ後、ポルトガル国立バレエにプリンシパルとして入団、1988年にモンテカルロ・バレエに移る。クラシックのレパートリーはもちろん、数多くの振付家の作品を踊る。1989年、ハノーファー公妃よりモンテカルロ・バレエのエトワールに任命され、2009年まで同バレエ団で活躍。モナコ文化勲章シュヴァリエ章を受章する。パリのフランス国立ダンスセンター（Pantin）での教師養成コース修了後、現職となる。以来、フランス文化省の要請を受け、地中海地域におけるダンス発展のために尽力している。またローザンヌ国際バレエコンクールの芸術委員会の一員であり、ダンス医学調査会（ADMR）の副会長も務める。

英国ロイヤル・バレエ・スクール（イギリス）アーティスティック・プログラム 主任

### ホセ・カラヨル José Carayol



国費奨学金を得て、スペインの Real Conservatorio Profesional de Danza de Madrid で学び、ヴィクトール・ウラテ、カルメン・ロシュ、オーランド・サルガドに師事する。世界中のカンパニーで踊り、クラシックからコンテンポラリーまで、そのレパートリーは多岐にわたる。ダンサーとしてのキャリアの後半は、教えることにフォーカスするようになり、NYでABT ナショナル・トレーニング・カリキュラム・ティーチャーズ・コースを履修する。卒業後は、ABT® Project Plie プログラムのアソシエイト・ティーチャーとなり、クラシックバレエ芸術への情熱を若い世代に伝えながら、アメリカ国内のダイバーシティ & インクルージョン（多様性を重んじ、個々の格差を持たせない教育方法）をサポートすることを目的としたプログラムを実施する。また、ロサンゼルス・バレエ・アカデミーでは、コンサバトリー・プログラムとメンズ・プログラムの教師兼責任者を務める。その間、南カリフォルニアでプロコースの生徒を育てる環境を整えながら、男子プログラムをさらに発展させるために重要な役割を果たす。2019年より、シカゴのジョフリー・バレエのスタジオ・カンパニーおよびトレーナー・プログラム主任を務め、2021年より現職となる。

アントワープ王立バレエ・スクール（ベルギー）芸術監督

## ケヴィン・ドゥールワエル Kevin Durwael



1998年にアントワープ王立バレエ・スクールを卒業後、NDT2（ネザーランド・ダンス・シアター）に入団し、イリ・キリアン、ソル・レオン、ポール・ライトフット、オハッド・ナハリンらの作品を踊る。1999年、ベルギー王立ロイヤル・フランダース・バレエ団に移籍し、ウィリアム・フォーサイス、デイヴィッド・ドーソン、マルシア・ハイデ、クリスチャン・シュブック、ヨルマ・エロらと活動する。ダンサーとして活躍する傍ら、フランス、ポーランド、イタリア、トルコ、日本、アメリカ、チェコ、イスラエル、南アフリカなど世界中でマスタークラスを教える。YAGP、ヴァルナ国際バレエコンクール、タンツオリンピ、ヘルシンキ国際バレエコンクールなど様々な国際コンクールのために、数々のソロ、アンサンブル作品を振付する。2012年、アントワープ芸術大学を舞踊講師のディプロマを取得して卒業する。アントワープ王立バレエ・スクールでは、クラシック・バレエ、男子クラス、パ・ド・ドウ、レパートリー、コンテンポラリー・ダンス、振付を教え、アメリカン・アカデミー・オブ・バレエのゲスト・ティーチャー及び振付家でもある。

ジョフリー・アカデミー・オブ・ダンス（アメリカ）コンサバトリー&プリ・プロフェッショナル・プログラム 主任

## キャレン・エリス・ウエンツ Karin Ellis-Wentz



© Cheryl Mann

カリフォルニア州サラトガで育つ。ローザンヌ国際コンクールでは二度、セミファイナリストに選ばれ、86年にはドイツ・ミュンヘンのハインツ・ボスル財団へのスカラシップを得る。87年、アトランタ・バレエに入団する。88年からは、7年間、オランダ国立バレエに在籍し、グラン・スジェまで昇格する。95年、ボストン・バレエに移籍する。その後、99年からの11年間は、アメリカン・バレエ・シアター（ABT）に在籍し、クラシックからコンテンポラリーまで、様々な作品でソリストやプリンシパルの役を踊り、活躍する。また、ABTの教師養成コースを修了したABT公認教師であり、Stottピラティス公認インストラクターの資格も有する。現役中からNY全域で子供や大人にバレエを教え、ABT引退後は、NYフィルム・アカデミーのミュージカル・シアター・スクールやABTサマー・インテンシブ（NY）などで教える。12年にシカゴに移ってからは、シカゴ芸術高校のダンス教師となる。13年にジョフリー・バレエ・アカデミーの教師となり、16年6月より現職を務める。

ゴヨ・モンテロ作品振付指導者

ヨーロッパ・スクール・オブ・バレエ（オランダ）常任バレエミストレス・振付家

## マカレナ・ゴンザレス Macarena Gonzalez



セビリアに生まれ、プロフェッショナル・ダンス学院にてダンスを始める。奨学金を受け2002～2006年カルメン・ロッホ・パフォーミング・アーツ・センターで学び、在学中にカルメン・ロッホ・バレエ団で踊る機会を得る。2006～2011年、スペイン国立ダンス・カンパニーに所属し、様々な作品の重要な役を踊る。2012年、マドリッドのクリスティーナ・ロタ・スクールにて演劇の勉強を始める。2012～2017年、ニュルンベルク州立バレエ団では、ソリストとしてゴヨ・モンテロほか数多くの偉大な振付家の作品を踊る。2017年以降、アムステルダムヨーロッパ・スクール・オブ・バレエ、セビリア・プロフェッショナル・ダンス学院、マドリッド王立ダンス学院、アントワープ王立バレエ学校、YAGPネルヴィ国際バレエフェスティバルほか、世界各国のスクールやカンパニーでゲスト講師及びゴヨ・モンテロの振付アシスタントを務める。2022年、ヨーロッパ・スクール・オブ・バレエにて初作品を創作。2023年同校の常任講師・振付家に就任後、新しく2作品を同校のレパートリーとして創作する。また、ゴヨ・モンテロ作品の振付指導者としても活躍する。

K-BALLET ACADEMY/ K-BALLET SCHOOL（日本）校長

## 蔵 健太 Kenta Kura



北海道生まれ。16歳の時、ローザンヌ国際コンクールにてスカラシップ賞を受賞し、英国ロイヤル・バレエ・スクールに入学。1997年卒業と同時に英国ロイヤル・バレエ団に入団し、17年間活躍する。数多くの作品でソリストおよびプリンシパル役を務め、K. マクミラン、F. アシュトン、C. ウィールドン、G. バランシン、J. キリアン、W. フォーサイス、W. タケット、L. スカーレット、W. マクレガー、D. ビントレー、M. コーダー、M. ハート、M. ルナクル・テンブル振付の作品を含む様々な作品で主要な役を踊る。英国ロイヤル・バレエ・スクールのゲスト・ティーチャーを務め、2014年バレエ団退団後は同スクールの日本人初の専任アーティスティック・ティーチャーとなる。2023年9月、熊川哲也が創設者・芸術監督であるK-BALLET TOKYO附属のK-BALLET ACADEMY / SCHOOLの校長に就任する。

アルバータ・バレエ・スクール（カナダ）トレイニー・プログラム ディレクター

## アラム・マヌキアン Aram Manukyan



© PMG-Image Paul McGrath

アルメニア振付アカデミーにて、ワガノフ・メソッドを学ぶ。卒業後は、アルメニア国立バレエ、ウクライナ国立ドネツク歌劇場バレエ、インディアナポリス・バレエ・インターナショナル、シンシナティ・バレエ、サラソタ・バレエをはじめ、数々のバレエ団でソリストおよびプリンシパルとして活躍する。また、その指導の才能が認められ、モスクワのロシア国立舞台芸術大学（GITIS）の奨学生として選出される。マスター・ティーチャーとして多くの名門バレエ学校で指導にあたるほか、YAGPをはじめ数多くの国際バレエコンクールの審査員も務める。2007年よりアルバータ・バレエ・スクールでバレエ教師を務めるが、プロのダンサーとしての幅広い経験とマスター・ティーチャーとして世界中で指導にあたってきた経験から、スクールに独自の視点をもたらしている。2014年7月、アルバータ・バレエII設立に際し、プログラム・ディレクターに任命され、2017年より現職を務める。

モナコ王立プリンセス・グレース・アカデミー（モナコ）芸術監督

## ルカ・マサラ Luca Masala



ミラノスカラ座バレエ学校、スクール・オブ・アメリカン・バレエ、モナコ王立グレースバレエ学校で学び、ベルギー王立フランダース・バレエ、ナンシー・バレエ団、ヘッセン州立ヴィースバーデン・バレエ団、バイエルン国立バレエを経て、2000年よりトゥールーズ・キャピトル劇場バレエで活躍する。クラシック・バレエのみならず、ネオクラシックバレエ作品でも全ての主要なパートを踊り、スタンリー・ウイリアムス、ウラジミール・ヴァシリエフ、アルヴィン・エイリー、ミハイル・バリシニコフ、ウィリアム・フォーサイス、イリ・キリアン、ジョン・ノイマイヤー、モーリス・ベジャールなど、名だたる振付家の作品に多数出演する。その後、バレエマスターとして様々な作品の上演に携わる一方、「Sang Mele」「Christ's Lament」「The Seven Deadly Sinns」「Nougaro」など自身の作品を振り付ける。2009年には、トゥールーズ・キャピトル劇場バレエのナネット・グリシャックによる Coppélia 初演の助手を務める。同年、現職に任命される。

シュツットガルト・バレエ ジョン・クランコ・スクール（ドイツ）校長

## タデウス・マタチ Tadeusz Matacz



ポーランドのワルシャワで生まれ、ワルシャワの国立バレエアカデミーにてバレエを学ぶ。また同校では、レオニード・ジダーノフのもと、教育法も習得する。1977年、ダンサーとしてワルシャワ大劇場に入団し、また同時に、ワルシャワ・バレエ・スクールでバレエ教師も務めることとなる。1979年から1984年までの間、ワルシャワ大劇場でプリンシパル・ダンサーとして活躍する。1984年から1992年までは、カールスルーエ（ドイツ）のバーデン・ステート・シアターでソリストとして踊る。そこでは1988年から指導にもあたり、1992年から1998年まで、バレエマスター、振付家を務める。1990年から1998年の間には、ゲスト・ティーチャーとしてフランクフルト・バレエ、トゥールーズ・バレエ、ワルシャワ大劇場で指導に当たり、1997年から1998年にはシュツットガルト・バレエでも教える。1999年1月よりジョン・クランコ・スクールの校長を務め、また数々の名だたる国際バレエコンクールで審査員を務めている。

オーストラリアン・バレエ・スクール（オーストラリア）校長

## リサ・パヴァーン Lisa Pavane



1978年、オーストラリアン・バレエ・スクールに入学、その後1981年にオーストラリアン・バレエに入団する。1983年にソリストに昇格し、1986年にはプリンシパル・アーティストとなる。また、ボストン・バレエ、キーロフ・バレエ、パーミンガム・ロイヤル・バレエなど、様々なバレエ団のゲスト・アーティストとしても活躍し、日本での第6回および第7回世界バレエフェスティバルや、ブタペストでのミュンヘン国立オペラ・バレエの公演にも出演する。1994年、シニア・プリンシパル・バレリーナとしてイングリッシュ・ナショナル・バレエに入団し、様々な作品を踊る。現役引退後は、イングリッシュ・ナショナル・バレエで働きつつ、フリーの教師として指導にあたる。2001年オーストラリアに戻り、2007年にクラシック教師として、オーストラリアン・バレエ・スクールに加わる。その後、様々な役職を経て、2015年より校長を務める。

イングリッシュ・ナショナル・バレエ・スクール (イギリス) 教師、プロデューサー、芸術監督、プリンシパル・ダンサー  
**イヴァン・プトロフ Ivan Putrov**



©Josephine Callaghan

ウクライナ・キーウのバレエ一家に生まれ、キーウ国立振付学校及び英国ロイヤル・バレエ・スクールで学ぶ。卒業後、英国ロイヤル・バレエ団に入団し3シーズン後にはプリンシパルへ昇格した。そのレパートリーは多岐にわたり、様々な作品でプリンシパルの役を務める。世界各国の主要バレエ団と共演し、また英国ロイヤル・バレエ団とともに世界中の有名な劇場で重要な役を踊る。ローザンヌ国際バレエコンクール一位、セルジュ・リファール国際バレエコンクール金賞、ニジンスキーフェスティバル金賞、英国批評家協会賞(ナショナル・ダンス・アワード)を受賞する。またその功績に対しウクライナ大統領より表彰され、ウクライナ名誉芸術家となる。写真、映画等の創作活動にも携わり、バッキンガム宮殿で催されたエリザベス王太后女王の101歳の誕生祝賀式典などの特別式典やチャリティーイベントに招聘され、パフォーマンスを行う。2021年にはロンドンのスターダンサーとの共演によるウクライナ人によるバレエガラをロンドンで開催し、ウクライナの伝統的なバレエにスポットライトを当てる。英国国立歌劇場で上演された「ダンス・フォー・ウクライナ」の創作・共同監督も務め、ウクライナ災害緊急委員会(DEC)に160,000ポンド(約2800万円)を寄付する。

バレエ・ドルトムント/NRW ジュニアバレエ (ドイツ) バレエ・ミストレス  
**ステファニン・リッチャルディ Stephanie Ricciardi**



ブラジル生まれ。ポリショイ・バレエ団ブラジル校でワガノワ・テクニックを学び、2007年に卒業する。ブラジルのポリショイ・バレエ・ユース・カンパニーでは、V. ワシーリエフ振付の様々な作品で主要な役を踊る。YAGP 2006のファイナリストであり、同年モスクワのポリショイ・バレエ団へ1か月間のインターンシップ・プログラムに参加し、N. オシポフ、S. ザハロフ、A. ボローティン、M. ルイジキナ、A. ウヴァーロフらと共演する機会を得る。2010年ザルツブルグ州立劇場にソリストとして入団。2012年バレエ・ドルトムントヘソリストとして入団し、10年間在籍した。同バレエ団では、W. フォーサイス、G. バランシン、J. ブベニチェク、D. ヴォルピ、E. クラッグ、B. ミルピエ、E. リャン、A. エクマン、D. リー、J. イエンガー、また同バレエ団の監督でもあるX. P. ワンの作品を踊る。2023年3月、NRW ジュニア・バレエのために振付されたガジ・ズマヴク“Propotions on Palette”やマライン・ラドメーカー“The Full Length”の世界初演では、振付補佐および衣装デザイナーを担当する。同年8月より現職。

ベルリン国立バレエ学校 (ドイツ) 副芸術監督  
**マレク・ルースィツキー Marek Rózycki**



© Johann Sebastian Hänel

ポーランド出身。ポズナン国立バレエスクールで学び、ポーリッシュ・ダンス・シアター、ブレマー・ダンス・シアターで踊る。1982年ベルリン・ドイツ・オペラ入団し、のちにファースト・ソリストに昇格。ベルリン国立バレエでは、ファースト・ソリスト、バレエ・マスター、バレエ教師、振付家として多くの経験を積む。また、デンマークのピーター・シャウフスのカンパニーで、ファースト・バレエ・マスター及び振付助手を務める。その後、パリ国立ダンスセンターの教育学及び振付研究所で学び、クラシックダンスの教授としての国家資格を得る。ライン・バレエではゲスト・ティーチャーを務め、ストラスブルクのレジオン国立舞踊学校ではクラシックダンスの教授として指導にあたる。ベルリンに戻り、コーミッシュ・オーパーのベルリン・バレエ・カンパニーで副芸術監督及びファースト・バレエ・マスターを務める。現在は、振付家やゲスト・ティーチャーとしても精力的に活動し、映画、写真、美術、音楽など、別の芸術分野とのコラボレーションにも意欲的に取り組んでいる。

ヨーロピアン・スクール・オブ・バレエ (オランダ) 常任教師、スカウト  
**クリスティーナ・サソ Cristina Saso**



ローマ生まれ。14歳の時にカルラ・フラッチよりスカラーシップ賞を受賞しM. ベゾブラソフが校長を務めるモナコ王立プリンセス・グレース・アカデミーに入学。その後、ミュンヘンにあるK. ヴァーノンが校長を務めるハイツ・ボズル財団バレエ学校にて技術を磨く。V. ワシーリエフが監督を務めるローマ歌劇場バレエ団に入団し、その後サンカルロ劇場バレエ団へ移籍する。1年間アメリカのタルサ・バレエ団に所属した後、ローマ歌劇場バレエ団のダンサーとして終身契約を結び、ソリストおよびプリンシパルの役を踊る。2018年から2020年まで、ローマ歌劇場バレエ団のほとんどの上演作品において、バレエ・ミストレスおよびアシスタントを務める。2019年より現職となる。

## YGP2024 日本予選スタッフ .....

- YAGP 芸術監督／共同創設者 ラリッサ・サヴェリエフ ゲナディ・サヴェリエフ
- YGP JAPAN 事務局  
スカラシップ・チーム ディレクター 川西 晴子  
事務局長 石井 千春  
事務局補佐 吉岡 泰子  
スカラシップ・チーム 中島 美和 長谷川 千帆 川西 恵理 高橋 早紀 大岩 詩依  
河合 ケネディ 吉田 早希 南條 健吾  
伊東 昌彦 (M.S.U)  
渡邊 志穂 平ノ内 知彦
- 舞台監督  
舞台監督補佐 敷田 秀樹 (ミクサーージュ) 林 亜紀子 (ミクサーージュ)
- 音響 平井 美加 徳岡 あかね 高橋 理沙 山本 規子 小見山 朋子
- ピアニスト 長田 沙織 椿井 愛実 山本 奈那 森川 美沙 富川 亜希子
- 通訳／アナウンス 大久保 沙耶 青柳 理恵 酒井 彩 松本 鈴香 青江 麻希  
松山 由里 ケリー 摩耶
- 写真 スタッフ・テス (株)  
谷岡 秀昌 松澤 綾子 高橋 大輔 渡辺 忍 中林 秀太
- ビデオ／映像配信 (株) EDITION
- ウェブサイト 合同会社 イングルウッド
- シニア女性予選審査 協カダンサー 飯島 望未 (K-BALLET TOKYO)  
本田 千晃 (スターダンサーズバレエ団)  
藤原 青依 (ヒューストン・バレエ団)  
佐々木 夢奈 (佐々木美智子バレエ団)  
岡野 祐女 (ポーランド国立バレエ団)  
佐々木 須弥奈 (英国ロイヤル・バレエ団)  
藤本 佳那子 (ドレスデン国立歌劇バレエ団)  
前田 紗江 (英国ロイヤル・バレエ団)  
升本 結花 (フィンランド国立バレエ団)  
中野 里美 (サンフランシスコバレエ団)  
奥村 彩 (チェコ国立バレエ団)  
若林 侑希 (ハンガリー国立バレエ団)  
庄田 乃彩 (フリー、ジョン・クランコ・スクール卒業)  
小森 世楽 (フリー、ジョン・クランコ・スクール卒業)
- 表紙写真 YGP2023 日本予選ジュニア部門男性第1位 宮崎 圭介  
Photo by STAFF TES

## YGP2025 日本予選開催日 .....

2024年10月13日(日)～10月20日(日) あましんアルカイックホール、アルカイックホール・オクト (兵庫県尼崎市)

### Youth America Grand Prix

日本国内でのお問い合わせ：YGP JAPAN 事務局

〒107-0062 東京都港区南青山 3-15-9 Minowa 表参道 3F

メール: [info@yagp.jp](mailto:info@yagp.jp) ウェブサイト: <https://www.yagp.org/japan/>

Instagram: @yagpjapan Twitter: @YAGP\_JAPAN Facebook: Youth America Grand Prix - Japan